

1. 基本情報									
事務事業コード	01010105	事務事業名	単人駅東土地区画整理事業			担当部	建設部		
						担当課	区画整理課		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり					グループ	業務第3グループ		
施策名	01 生活基盤の充実					電話番号	45-5111		
基本事業名	01 住宅環境の整備					内線番号	2915・2916		
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H18 ~ H34)			
	款	08 土木費							
	項	05 都市計画費							
	目	02 土地区画整理費							
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	根拠法令・条例等 特になし			
事務種別	施設・設備・道路整備事務		裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	2次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 住民より道路、公園、水路等の整備を望む声が多くあり、平成10年度にアンケート調査を行い、区画整理事業を導入し、一体的に整備することになった。当該地区は、区域内における自動車の走行可能な道路は幅員も狭く、緊急車両の進入が困難なため、防災上も極めて危険な状況にある。また、近年ミニ開発や共同住宅の建築が行われ、公共施設が未整備なまま宅地化が進んでいるため、土地区画整理事業により、道路、駅前広場、公園等の公共施設の整備を行い、JR単人駅の東側を新しい交通拠点とした中心市街地の形成を図り、人々にぎわう都市空間を創設する。
 ①道路築造工事(都市計画道路・区画道路・特殊道路)
 ②宅地・公園整地工事
 ③建物等移転補償
 ④保留地販売 ※保留地…区域の地権者の方々から減歩により土地を提供していただいていた新たに生み出した土地で、売却収入は事業の財源の一部になる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	建物移転	戸	0	0	0	2	9
イ	宅地整地	m ²	0	0	0	0	0
ウ	道路築造	m	0	0	0	0	858

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 単人駅東地区内の区画整理対象区域							
イ 単人駅東地区内の居住者、地権者、来訪者							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 良好な宅地として整備する							
イ 魅力ある空間に変える							
ウ 人(居住者、来訪者)を増やす							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア ゆとりある住宅を確保できる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 区域内の権利者から市の発展のためにも、早期の工事着手・完成を望まれている意見が多いが、一方では一部慎重な意見もある。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円		7,623	10,790	362,450	132,000
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		6,900	8,200	266,800	97,200
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		723	1,653	32,750	124,800
事業費		千円	0	15,246	20,643	662,000	354,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>		(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>	
1 委託料			
建物調査業務委託等 (現年)	4件 16,611,000円		建物調査の実施により、次年度の建物移転交渉に向けた基礎資料ができた。また、事業計画変更を行い区画道路の位置を変更することにより、仮換地交渉が進み仮換地指定を行うことができた。 平成25年度末の事業費ベースの進捗率は4.0%、仮換地指定率は45.6%となっている。 以上のことから、本区域における良好な宅地の整備に向けて事業が推進された。
事業計画変更 (繰越)	1件 4,032,000円		

事務事業コード	01010105	事務事業名	隼人駅東土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	土地権利者の要望、意見は多岐にわたるため、計画どおり進めることは困難であるが、可能な限り委託等まとめて発注を行っているので、これ以上の削減の余地はない。	
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	グループ制により、他地区のグループと連携を図り、効率的な事務を行い、経費削減や業務時間の削減を行っており、これ以上の削減の余地はない。	
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	事業計画に基づき仮換地の交渉等事業を推進し、業務委託等についてもまとめて発注ができるように努める。また、浜之市地区、麓第一地区との連携を図り、効率的な事務を行う。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路、区画道路等の築造工事を行う。 ・仮換地・建物等の移転補償交渉を行う。 ・仮換地の指定及び建物調査等の業務委託を行う。 ・JR隼人駅の東口を新しい交通拠点とした中心市街地の形成を図るとともに、霧島市の交通体系の機能強化を図る。 							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性		○		○					
(2) 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「2(2)②対象」と「2(2)④意図」を追加した。 ・事業については、「6.C効率性」について検討を行ったが、事業費や人件費の削減にこれまででも取り組んでおり、これまでと同様に事業を継続すべきものと判断する。 ・新たな市街地の形成を図るうえで、本事業は重要な役割を果たしており、事業の推進を図るためにコスト拡充が必要である。 								

事務事業 コード	01010104	事務 事業名	浜之市土地区画整理事業	担 当 部	建設部
				担 当 課	区画整理課

6. 振り返り <SEE>		理 由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	他地区の流用土の活用や工法の見直し、また、可能な限り委託等をまとめて発注することで経費の節減を行っており、これ以上の削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	麓第一地区、隼人駅東地区と類似した事務処理をグループ間で連携することで、経費節減や業務時間の削減を行っている。また、建物調査等で外部委託を行っており、これ以上の削減の余地はない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 < >								
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	権利者の理解と信頼を得られるように努め、麓第一地区、隼人駅東地区との連携を図り効率的な事務処理を行う。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者との仮換地交渉・補償交渉等をまとめ、建物移転を進める。 ・都市計画道路等築造や宅地整地工事等を行う。 ・保留地等の販売促進の強化を行う。 ・安全で快適な住宅地の供給を図る。 							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総 評								

1. 基本情報							
事務事業コード	01010103	事務事業名	麓第一土地区画整理事業	担当部	建設部		
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		担当課	区画整理課		
施策名	01	生活基盤の充実		グループ	業務第2グループ		
基本事業名	01	住宅環境の整備		電話番号	45-5111		
				内線番号	2913		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(H5 ~ H28)		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	05 都市計画費					
	目	02 土地区画整理費					
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)			関連計画			
事務種別	施設・設備・道路整備事務		裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	
					評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

麓第一地区は、空港前の住宅地として健全な市街地(42.5ha)の形成を図る。工事については、造成に伴う流末排水を考慮した上で、地権者の了承が得られた区域から整備を進めている。当地区は、空港に近く、幼稚園、小・中学校、病院、駐在所、高速道路インターチェンジなどの公共施設の整った地域であり、現在、地権者から減歩として提供された保留地(宅地)の販売を行っている。販売方法については、空港や周辺企業へ勤める方への営業活動・鹿島市広報誌への掲載・インターネットによるホームページでの紹介・鹿児島県宅地建物取引業協会の媒介などを行っている。

①道路築造工事(都市計画道路・区画道路・特殊道路)
 ②宅地・公園整地工事
 ③建物等移転補償 ※流末排水(造成地からの雨水等を安定的に処理できる排水施設)
 ④保留地販売 ※減歩(関係所有者の整理前の土地から目的の土地を生み出すために減らした土地面積)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 建物移転	戸	1.0	2.0	1.0	0.0	0.0
イ 宅地整地	m ²	2,164.0	7,977.0	11,100.0	17,310.0	7,800.0
ウ 道路築造	m	358.0	1,427.0	1,282.0	950.0	300.0

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 麓第一地区の区画整理区域							
イ 同区域内の土地権利者							
ウ							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 良好な宅地として整備する							
イ 土地利用の増進を図る							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつつかの)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア ゆとりある住宅を確保できる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	32,619	31,483	30,250	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	86,093	55,800	22,200	0
		その他	千円	0	626	15,000	30,000
		一般財源	千円	43,451	36,730	13,524	83,200
		事業費	千円	0	162,163	124,639	80,974

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 委託料 基準点測設測量業務委託等 (現年) 3件 6,143,000円 2. 工事請負費 街区整地工事等 (現年) 4件 20,544,500円 区画街路築造工事等 (繰越) 10件 80,202,550円 3. 補償補填及び賠償金 支障電気通信線路移設補償等 (現年) 8件 17,748,944円	地区内の都市計画道路(84%)、区画道路(73%)が完成し、交通の利便性が向上した。また、街区(宅地)整地に伴い住宅着工戸数も増え、着実に市街化が進んでいる。事業費進捗率は約87.8%、仮換地指定率は約97.7%、保留地販売は約47.3%となった。

事務事業 コード	01010103	事務 事業名	麓第一土地区画整理事業	担 当 部	建設部
				担 当 課	区画整理課

6. 振り返り <SEE>		理 由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	麓第一地区は、高低差が大きく造成に伴い、捨土の処理に多大な経費がかかる。このため、整地計画高さを見直すことにより、擁壁高さ及び捨土量の抑制や流用先を検討することにより、経費の節減を行っており、これ以上の削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	浜之市地区、隼人駅東地区と類似した事務処理をグループ間で連携することで、経費節減や業務時間の削減を行っている。また、工事受注者等に地域ボランティアを提案し、維持管理に要する人件費の削減も行っており、これ以上の削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <							
		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善の方向性		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	関係地権者との交渉協議を確実に進め、浜之市地区、隼人駅東地区との連携を図り、効率的な事務処理を行う。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の工事完了を目標とし、未施工箇所のある区画道路築造及び宅地整地を行う。 換地処分に向け、完成した箇所の出来形確認測量を実施する。 仮換地未指定地の地権者との交渉を進め、仮換地指定完了を目指す。 保留地販売促進の強化を行う。 								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総 評									

事務事業 コード	01010103	事務 事業名	麓第一土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費			
	消耗品費			
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
12	役員費			
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	6,143	2,000	22,300
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費	100,747	55,000	88,900
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金	17,749	23,974	2,000
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		124,639	80,974	113,200
財源内訳	国庫支出金	31,483	30,250	
	県支出金			
	地方債	55,800	22,200	
	その他	626	15,000	30,000
	一般財源	36,730	13,524	83,200
計		124,639	80,974	113,200
補助率	国	0.55	0.55	
	県			
補助基本額		57,240	55,000	

平成25年度補正・流用状況

当初予算	223,203
補正予算	-6,000
補正回数 1回	-6,000
補正回数 2回	
補正回数 3回	
補正回数 4回	
補正回数 5回	
補正回数 6回	
補正回数 7回	
補正回数 8回	
流用・充用	2,310
予算合計	219,513

特定財源内訳

区分	名称	金額
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	31,483
地方債	都市計画事業債	55,800
その他	土地建物売払収入	626
合計		87,909

1. 基本情報						
事務事業コード	01010102	事務事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		担当課	区画整理課	
施策名	01	生活基盤の充実		グループ	業務第1グループ	
基本事業名	01	住宅環境の整備		電話番号	45-5111	
				内線番号	2912	
予算科目目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(H10 ~ H30)		
	款	08 土木費		根拠法令・条例等 特になし	関連計画	
	項	05 都市計画費				
	目	02 土地区画整理費				
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					
事務種別	施設・設備・道路整備事務	裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	
				評価対象	1次評価	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

浜之市土地区画整理事業をスムーズに進め、快適な居住空間の創出、都市機能の更新、特に密集市街地の整備改善を図るため、平成10年度に国土交通省から住宅市街地総合整備事業の認可を受け、平成11年度から事業を実施している。
 既存市街地(例:住宅密集地)において、公共施設の整備改善を含む総合的な市街地整備を目的とした事業である。住宅市街地総合整備事業区域内の老朽住宅を除去することで、防災上の安全性の確保を図っている。
 また、建物移転が可能となるスペースも確保することで、区画整理事業のスムーズな進捗に寄与している。
 ①老朽建築物の除却
 ②公共施設(道路・公園・コミュニティ施設等)整備
 ③従前居住者用の受け皿住宅の整備

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 老朽建築物除却棟数	棟	6	2	0	1	3
イ 防火水槽設置数	基	0	0	1	1	1
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 浜之市地区の老朽住宅							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 買取・除却し、密集市街地を整備改善する							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア ゆとりある住宅を確保できる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 ・風水害等で影響があると思われる老朽住宅が多いため、事業対象者から早期の除却を望む声が多かった。
 ・公園整備については、地区住民等で構成される浜之市地区まちづくり協議会で協議いただき、利用者の利便性の向上、子供達の安全確保、周囲人家への配慮等について様々な意見をいただき、それらを取り入れながら公園整備を行っている。

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	財源内訳	千円		15,019	32,815	40,975	29,104
	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		9,783	8,608	8,669	8,165
	その他	千円		5,258	26,132	35,756	27,409
	一般財源	千円		0	30,060	67,555	85,400
事業費		千円					
		千円					
		千円					
		千円					

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 委託料 公園修正設計業務委託等(現年) 2件 945,000円 公園便所新築工事設計業務委託(繰越) 1件 777,000円 2. 工事請負費 耐震性貯水槽設置工事等(現年) 4件 35,648,355円 公園整備工事等(繰越) 3件 30,185,000円	平成25年度は、くまの公園整備(浜之市地区)を重点的に行い、また、同公園敷地内に防火水槽を設置した。公園は平成26年4月より供用を開始したが、子供や家族連れの利用者が多く、区内住民に喜ばれている。防火水槽の整備により、防火水利の確保が図られ、くまの公園の整備により、周辺環境の充実が図られた。事業の進捗率は事業費ベースで82%に達した。

事務事業 コード	01010102	事務 事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない			
⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	他の工事に出された残土を本事業に流用するなどにより、常に事業費の削減を行っているため、これ以上の削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない			
<input type="checkbox"/> 削減できる			
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 < >								
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	地権者との相互理解を得られるよう努めながら、早期完成に向け事業に取り組んでいく。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽建築物2棟の除却を実施する。 ・耐震性貯水槽を1基整備する。 							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

